

市内小中学校の保護者の皆様へ

あわら市教育委員会

子どもたちに「生きる力」を育むために

～ふるさとあわらを愛し、一人一人が夢や希望を持ち個性が輝く教育の推進～

保護者の皆様には、日ごろより本市の教育にご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

令和7年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が7月末に公表されました。今回の調査で明らかとなったことの中から、保護者の皆様にご協力いただきたいことをまとめました。今後、市の広報紙やホームページでお知らせいたします。結果につきましては、調査日時点での結果であること、成長過程の子どもたちの限られた教科の結果であること、また、学習状況の部分的な調査であることをご承知おきください。本市としましては教育活動を評価するための一つの資料として有効に活用してまいります。

本市の教育は、ふるさと愛を高め、子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく身に付けさせる、総合的な学力の育成を図ることを目指しております。子どもたちに「生きる力」を育むために、引き続き皆様のご理解とお力添えをお願いいたします。

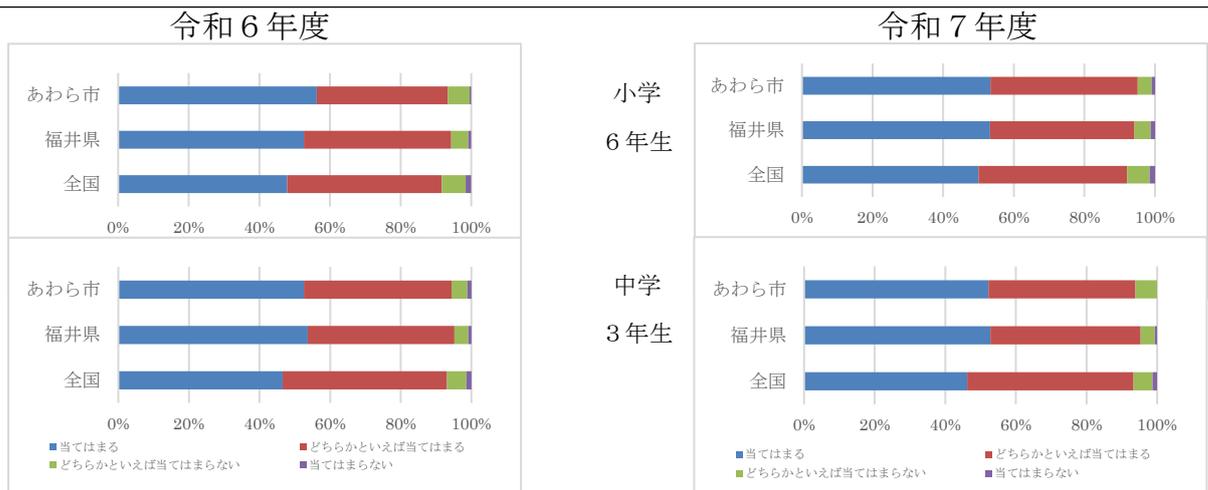
【ご協力いただきたいこと】

《学習について、やる気を引き出し、自律を促す働きかけを》

今回の質問紙調査の結果から、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいます」と回答した児童生徒（小学6年生、中学3年生）の割合が、全国や県と比べて、高い傾向が見られました。

自分の学習状況を把握し、課題解決に向けて協力する力は社会に出たときに必ず役に立つ力です。仲間と協力し課題解決に向かうことは子どものやる気に火をつけることにも重要です。学校では知的好奇心をかき立たせる授業を実践してまいります。ご家庭でも、お子さんの可能性を信じ、やる気を引き出す言葉かけや働きかけをお願いします。

○授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



《引き続き子どもの自己肯定感、自己有用感※を高める働きかけを》

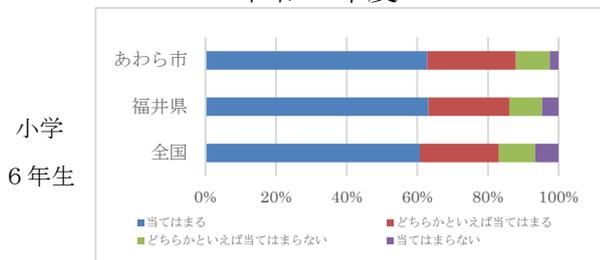
※自己有用感とは、「自分が誰かの役に立っている、必要とされていると感じる気持ち」です。

今回の質問紙調査の結果から、「将来の夢や希望を持っている」と回答した児童の割合が、「いじめはいけないことだと思っている」と回答した生徒の割合が高いことがわかりました。

夢や希望を持つためには、「自分ならできるかもしれない」「自分にはこんな良いところがある」と思える自己肯定感が夢を持つためには重要です。さらにいじめを否定し、安心して自分を表現できる環境も重要です。子どもは成長中です。失敗もします。結果ではなくプロセス（過程）を褒め、努力したことをしっかり認めていくことで自尊感情が高まり、自分に自信を持つようになります。

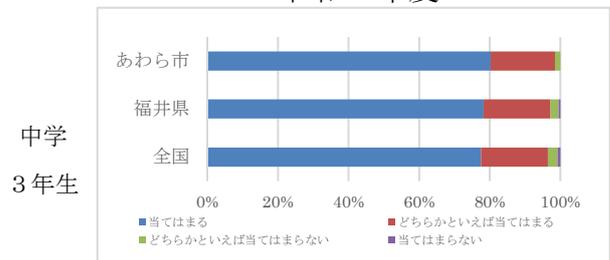
○将来の夢や目標を持っていますか

令和7年度



○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

令和7年度



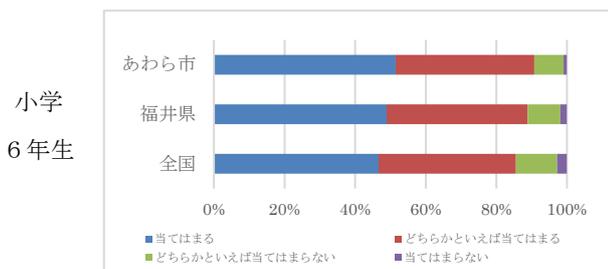
《ネット端末の利用について、ご家庭で一緒に考える機会を》

今回の質問紙調査の結果から、あわら市の子どもたちは、全国や県と比べて、ICT機器を利用した授業に関心が高く、効果的であると思っています。学校では今後も授業の中でのICT機器を効果的な活用を進めます。

ゲーム、動画視聴、SNSの使い方等のネット端末の利用についてご家庭でも苦慮されているのではないのでしょうか。娯楽の部分と学習の部分をバランスよく利用し、自分を成長させる道具、自分のためになる道具となるようネット端末の利用についてご家庭で考える機会を大切にしてください。

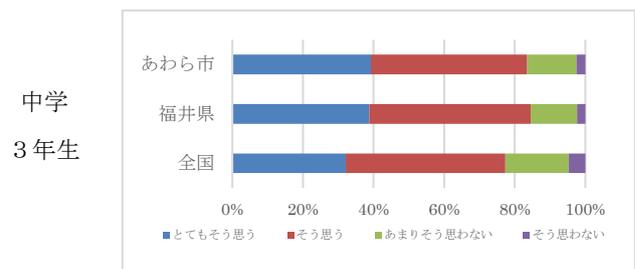
○学習の中でICT機器を活用することは楽しみながら学習をすることができますか

令和7年度



○あなたはICT機器を使ってプレゼンテーションを作成することができますか

令和7年度



なお、各教科の成果や課題、質問紙調査の他の結果については、今後、市のホームページ等で掲載しますのでご確認ください。 **問合せ先 教育総務課 ☎73-8039**